

研究名	中枢性尿崩症におけるデスモプレシン製剤の適正使用に関する研究
研究責任者	京都大学医学部附属病院 代謝制御学/糖尿病・内分泌・栄養内科 稲垣 暢也
研究分担者	京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科 村上 隆亮 糖尿病・内分泌・栄養内科 安田 拓真
研究の目的	中枢性尿崩症は稀な疾患ですが、近年、本邦でもデスモプレシンの経口剤が使用可能となり、診療を取り巻く環境が大きく変化しています。この研究では、治療薬が複数の剤型から選択可能になった現状での中枢性尿崩症診療の課題、およびその対策を練るため、これまでに診療を受けられた患者さんの血液・尿検査結果、画像所見、治療の効果を解析します。全て過去のカルテの内容から情報を収集しますので、特に患者さんに新たな負担は発生しません。また、情報収集にあたっては、診療IDおよび患者識別コード等を用いデータを匿名化しますので、氏名等の個人情報に関わるデータが流出することはありません。なお、この研究は京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けています。
研究対象	本研究では、2010年12月から2019年3月の間に、京都大学医学部附属病院にて、中枢性尿崩症に対する診療を受けられた方を対象としています。
研究実施期間	2019年5月7日から2022年5月6日

この研究で得られた結果は、専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、患者さんのプライバシーは十分に尊重されます。データの取扱いには慎重に配慮し、患者さん個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。

本研究の対象となることを拒否される際には、当教室では書面でのご連絡を受け付けておりますので、メールまたは郵送・FAX でのご連絡をお願いします。また、研究計画書等の閲覧を希望される場合も、下記にご連絡頂ければ研究の実施に支障のない範囲で対応いたします。

本研究で収集した患者さんの情報は、同意を受ける時点では特定されない将来の研究のために利用可能性があります。二次利用する情報等は、将来新たに計画・実施される研究が、倫理審査委員会で承認された後に利用します。その場合には、HP上で情報公開文書にてオプトアウトを行い、研究対象者が拒否できる機会を保障した上で実施します。

本研究は、代謝制御学講座寄付金により実施しますが、デスモプレシン製剤関連企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査・管理しています。

ご連絡の際には以下の情報を添えてお願いします。

- ・ ご氏名
- ・ 京大病院の診察券の番号

- ・ 拒否される研究の名称

なお、拒否された場合には検査結果が研究に用いられることはなく、拒否されたことにより不利益を被ることも一切ありません。

連絡先

京都大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌・栄養内科

京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学

メール：tmurakam*kuhp.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてお送りください）

TEL：075-751-3560、FAX：075-751-4244

〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54

京都大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌・栄養内科学 村上 隆亮

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

メール：ctsodan*kuhp.kyoto-u.ac.jp（*を@に変えてお送りください）

TEL：075-751-4899